

2001年2月15日

東京外国為替市場委員会第40回会合議事録

開催日時	2001年1月22日 13:00～15:00
場 所	日本銀行本店新館9階大会議室
議長代行	花井 健 (日本興業銀行)
書 記	西川 広親(日本銀行)
参加委員数	16名(別紙)

1. 新委員選任の件

花井議長代行(日本興業銀行)より、第39回会合(昨年11月20日開催)における決定に基づいて、新委員の公募を行ったところ、2名の立候補者があったことが報告されました。

各立候補者について、提出書類に基く審査、立候補者の自己紹介、所信表明の後、委員による投票が行われ、両名ともに選任されました。新委員は以下の通り(敬称略、五十音順)。

加藤 博光 (野村證券)

住田 知正 (東京三菱銀行)

また、花井議長代行より、松田オブザーバーから辞意の表明があったとの報告がありました。これを受けて、委員の募集を継続することになりました。

2. 新議長等選任の件

森岡前議長(東京三菱銀行)の辞任により、空席となっていた議長職の選出を行いました。住田委員から立候補の意思が表明され、挙手による採決の結果、同委員が新議長に選出されました。住田新議長からは、「日本経済全体で生じている変革に対応した委員会運営を行い、東京外為市場の活性化を図っていききたい。また、海外の市場委員会との連携を密にし、グローバルな課題に取り組んでいききたい。」との所信表明が行われました。

また、加藤委員の辞任により空席になっていた運営小委員長には、同委員が再任されました。

3. フォレックスセミナー報告の件

教育・広報小委員長の渡辺委員(第一勧業銀行)より、1月15日に開催した標記セミナーについて、概要、暫定的な会計収支、および参加者数(約50名)等が報告されました(概要は以下の通り)。次回のテーマ、時期等については、今後、教育・広報委員会を中心に検討していくことになりました。

開催日時: 2001年1月15日 午後6時半～8時半

開催場所: 日本興業銀行本店

講演内容：「金融取引におけるインターネットの活用」

講師；大崎 貞和氏（野村総合研究所 資本市場研究室長）

「市場構造の変化について」

講師；西川 広親委員（日本銀行 金融市場局為替課長）

その他：参加者には軽食と飲物を提供

4. CFD の件

安田オブザーバー（東京三菱銀行）より、FISC（金融情報センター）の外為EDI研究会に講師として招かれ、CFD の概略及び現在の進捗状況について説明を行ったことが報告されました。

続いて、CFD 小委員長の菅田委員（富士銀行）より、ロンドンにおけるインデックス・レート算出システムのテスト状況について、以下の通り報告がありました。

- ① 1 月上旬に BBA からパネル行に対してレターが発出された。それによれば、パネル行とロイターとのリンクに関するテストは終了し、現在は入力レートがインデックス・レートに正確に反映されていることを確認する段階にある。
- ② BBA は、2 月以降、CFD インデックス・レートを公開する予定である。また、CFD 導入に伴うフロント、ミドル、バックオフィスでの様々な問題点について検討するワーキンググループを2月初に立上げ、2～3 月にかけて 4～5 回会合を開く意向であり、パネル行に対して参加を要請している。

本件については、引き続きロンドンでのテスト状況をモニターしていくことになりました。

5.その他

(1)インドネシアの為替規制について

インドネシア中央銀行が、1 月 15 日に、インドネシア・ルピア外為取引に関する規制強化を発表した件について、安田オブザーバーから、公表内容の概要、およびインドネシア中銀の現地外銀に対する説明内容について、報告がありました。委員からは、規制導入以前に約定されたオフショア取引がどのように取り扱われるのか等、不明確な点が多いとの指摘が相次ぎました。当面、当委員会としては、各委員とも情報入手に努め、必要に応じて臨時会合を開催することで一致しました。また、入手した情報についてはホームページを通じて東京外国為替市場参加者に還元することとなりました。

（注）今般の規制に関する情報を、当ホームページの「お知らせ」に掲載しておりますので、ご参照ください。

(2)Model Code に関する検討作業

Model Code ワーキンググループ委員長の中島委員（スタンダード・チャータード銀行）より、1 月 18 日に会合を開催し、Model Code の第 1 章について、東京 Code of Conduct（Orange Book）との相違点を洗い出すとともに、それぞれの相違点に関し、Orange Book 改訂の要否を検討した旨の報告がありました。今後の作業の取り進め方について議論した結果、検討結果や提案について

の本委員会での審議は、まとめて行うのではなく、随時実施していくこととなりました。

(3) 公式な市場取引開始時刻

シンガポール外為市場委員会が、公式の市場取引開始時刻を、現行の月曜日シドニー時間午前 5 時から、同 7 時に遅らせるよう提案している件に関し、酒匂委員 (UBS 銀行) より、以下の通り報告がありました。

- ① シンガポール外為市場委員会からの情報によると、オーストラリア ACI が本件について、シドニー、ウェリントンの市場参加者にアンケートを行ったところ、約 3 分の 2 が変更反対の様相である。
- ② シンガポール外為市場委員会としては、オーストラリア ACI に再考を求める意向である。

委員からは、「主要通貨に関しては、マーケットが非常に薄い時間であるため、開始時刻を遅らせた方が良い」との意見が出る一方で、「現地通貨 (オーストラリア・ドル、ニュージーランド・キウイ) は、すでに同時間帯に活発に取引されているのではないか」との声も聞かれました。議論の結果、当面は議論の帰趨を見守ることで一致しました。

以 上

東京外国為替市場委員会委員名簿(1月23日現在)

<委員>

議長	○住田 知正	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	大倉 孝	(ハークレイズ銀行)
書記	○西川 広親	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村証券)
教育・広報小委員長	○渡辺 秀典	(第一勧業銀行)
市場取引に関する小委員長	○酒匂 隆雄	(UBS 銀行)
リスク管理小委員長	○高松 力	(チェース・マンハッタン銀行)
CFD に関する小委員長	○菅田 克彦	(富士銀行)
Model Code ワーキンググループ委員長	○中島 尚彦	(スタンダードチャータード銀行)
	○野手 弘一	(住友銀行)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
	○伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	今井 雅人	(三和銀行)
	○金上 孝	(三菱信託銀行)
	○小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
	○文野 政和	(さくら銀行)

<オブザーバー>

	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
法律問題小委員長	○小林 一夫	(日本銀行)
	○安田 正道	(東京三菱銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。